

工 事 費 内 訳 書

工事番号及び工事名

商号又は名称

代表者名

工事区分, 工種, 種別, 細別, 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
直接工事					
直接仮設工事	1.0	式	3,500,000		
土工事	1.0	〃	2,000,000		
コンクリート工事	1.0	〃	6,870,000		
型枠工事	1.0	〃	4,830,000		
鉄筋工事	1.0	〃	6,970,000		
鉄骨工事	1.0	〃	17,800,000		
既製コンクリート工事	1.0	〃	3,690,000		
防水工事	1.0	〃	1,200,000		
石・テラゾ工事	1.0	〃	110,000		
タイル工事	1.0	〃	780,000		
木工事	1.0	〃	800,000		
金属工事	1.0	〃	6,690,000		
屋根・樋工事	1.0	〃	3,120,000		
左官工事	1.0	〃	1,750,000		
木製建具工事	1.0	〃	630,000		
金属製建具工事	1.0	〃	19,000,000		
ガラス工事	1.0	〃	2,000,000		
吹付・塗装工事	1.0	〃	1,000,000		
内外装工事	1.0	〃	13,500,000		
雑工事	1.0	〃	7,840,000		
直接工事費計			104,080,000		
共通費					
共通仮設費	1.0	式	3,150,000		
現場管理費	1.0	〃	7,850,000		
一般管理費	1.0	〃	18,760,000		
契約保証費	1.0	〃	73,000		
共通費計			29,833,000		
合計			133,913,000		
見積価格(入札書の見積金額)			133,910,000		
直接工事費のうち、材料費					
直接工事費のうち、労務費					
工事原価のうち、現場労働者の法定福利費の事業主負担					
現場管理費のうち、建設業退職金共済契約に係る掛金					
工事原価のうち、安全衛生経費					

※ 作成にあたっては、別紙「工事費内訳書作成に関する注意事項」に留意すること。

(別紙)

工事費内訳書作成に関する注意事項(建築)

- 1 工事費内訳書は、入札(見積)書(常陸太田市財務規則様式第94号)に記載する見積金額の内訳を記載するものであり、適切な原価計算に基づき積算した結果を記載するものとする。
- 2 A4版(縦使い)とする。また、複数枚になってもよい。
- 3 工事費内訳書は、作成日、工事番号、工事名称、商号・代表者名を記載した表紙を別様とすることができる。
ただし、閲覧(貸出)用図書の工事起工概要書(写しを含む。)あるいは、見積書を表紙として使用してはならない。
- 4 最下欄の見積価格は、入札(見積)書の見積金額と一致していること。
- 5 内訳は、各工事の閲覧(貸出)用図書に参考資料として添付されている本工事費内訳書に準拠した記載をすること。
- 6 工事費内訳書は、積算の内訳を明らかにするものであることから端数処理の場合を除いて、「値引き」や「割引」など理由のない減額項目を記載しないこと。
- 7 工事費内訳書に、材料費、労務費、現場労働者に関する法定福利費(労災保険料、雇用保険料、健康保険料、厚生年金保険料の法定の事業主負担額)、安全衛生経費(労働安全衛生法令等に基づく労働災害防止対策に必要な経費)及び建退共掛金を必ず記載すること。
- 8 工事費内訳書の記載に不備等があったときは、説明を求める場合がある。